

海外導入事例

AsReader®は多彩な活用用途で、海外でも導入が進んでいます！

アメリカではAsReaderが、病院や警察署、牧場などで導入、運用されています。警察署では、2次元コードリーダーとHF帯RFIDリーダーライターのASR-0240Dを使用し収監者のリストバンドのQRコードと、収監場所に設置したRFタグを紐づけて、「正しく収監されているか」を管理しています。牧場では家畜の個体識別にASR-L70Dの導入が進んでいます。またヨーロッパでは、消防車メーカーが消防車とセットでGUN-Type (ASR-R250G) を販売。現場での消火活動後、消防車装備品の回収にご利用いただいています。



写真はイメージです。

RFID AsReaderの導入実績 (2021年10月現在)



流通や建築、製造、医療をはじめ、様々な業界で多様な利活用が進んでいます。在庫管理、棚卸、部材管理といったベーシックな用途はもちろん、話題のセルフレジ、駐輪場でのRFタグ付利用者シールによる不法駐輪管理（期限オーバー、利用期間書換等）や日ごとに人員配置が変わる工場の生産ラインでは、スタッフ配置表に毎朝貼りだされるタグ付名札をリーダーで読み取るだけで、その日のアサイン状況を工程管理表に紐づけるといったご活用方法も。日々、新しい用途でのRFID運用が広がっています。

AsReader連携システム ※下記ソリューションとの連携機種については、お問い合わせください。

Logistics	日本パレットレンタル株式会社	株式会社インフォセンス	ロジザード株式会社	株式会社ロジクラ
Retail	株式会社 アイル	チェックポイントジャパン株式会社	株式会社スマレジ	オザックス株式会社
Manufacture	株式会社シムトップス	株式会社エクサ	株式会社エージェンテック	

●Apple、Apple のロゴ、iPhone、iPod touch、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
 ※iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。 ※iOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
 ●その他、各社の会社名、システム名、製品名などは、一般に各社の登録商標または商標です。
 当社サイト内・印刷物に記載されている社名、製品名、サービス名及びサイト名には、必ずしも商標表示「®」「(TM)」を付記していません。

<https://asreader.jp> <https://www.asx.co.jp>

AsReader®
 導入事例ダイジェスト <産業>

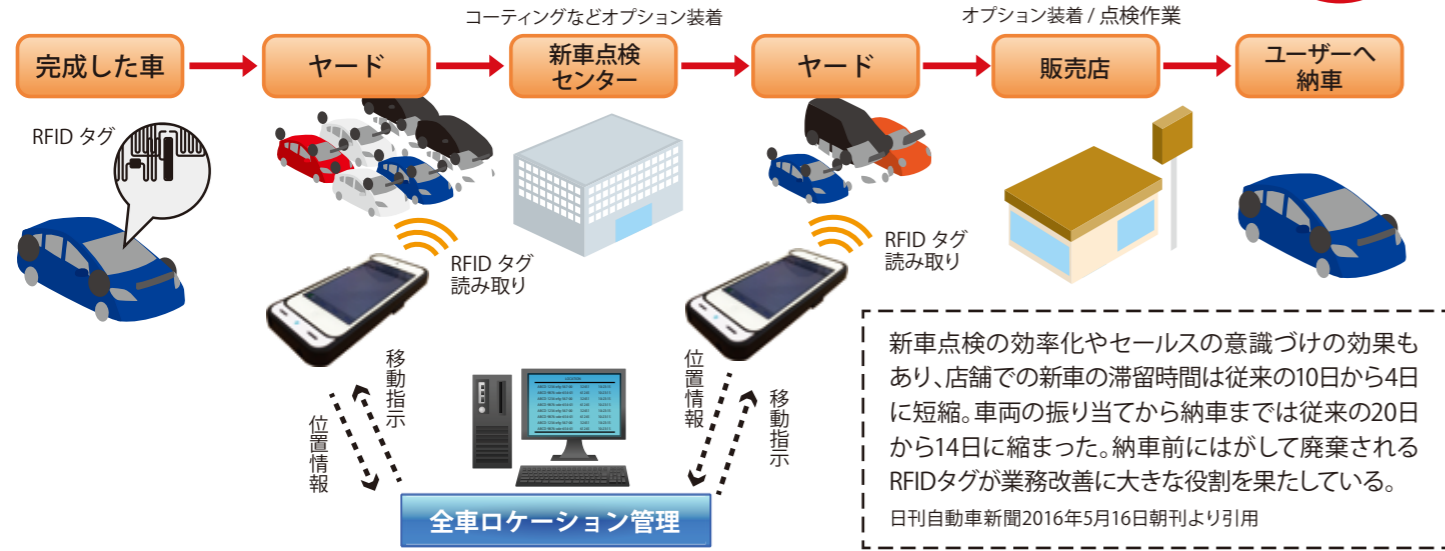


製造 トヨタ自動車 株式会社

<http://toyota.jp/>

RFID
活用事例

販売物流改善の最前線で活躍するRFID AsReader®



新車点検の効率化やセールスの意識づけの効果もあり、店舗での新車の滞留時間は従来の10日から4日に短縮。車両の振り当てから納車までは従来の20日から14日に縮まった。納車前にはがして廃棄されるRFIDタグが業務改善に大きな役割を果たしている。
 日刊自動車新聞2016年5月16日朝刊より引用

課題

敷地内の車両移動や工場内の工程に、非常に時間がかかっていた。また近年は、ボディコートなどのオプション作業が増え、効率が落ちていた。

ソリューション

トヨタ自動車様からの依頼を受けて開発した弊社RFID AsReader。RFIDタグ(位置情報)を迅速かつ正確に読み取り、ロケーションを一元管理しているクラウドサーバーへ送信し、サーバーからの指示を表示します。どの自動車もどのタイミングでどこへ移動すれば良いのかひと目で分かるため、滞留時間が短縮され、納期CS向上に繋がっている。

製造 川崎重工業 株式会社(車輛カンパニー) 川崎車輛コンポ株式会社

<http://www.khi.co.jp/rs/index.html>

コスト・操作性・汎用性の三点で選んだ結果がAsReader®



課題

- 部品の配膳に関して、従来は部品組立担当者が手入力により配膳依頼表を作成し、配膳担当者に依頼を行う業務フローだった。その際、入力ミスや伝達ミスが度々発生し、改善が急務となっていた。
- 現場からは、「ポケットに入るような小さいもの」「首から下げてもストレスが掛からないもの」という要望があり、機能性・操作性の面からも最適な端末を探していた。

ソリューション

- AsReaderで、部品組立担当者が部品伝票のバーコードを読み取り、配膳管理システムに登録。配膳者はフォークリフトに乗ったままiPadでシステムに登録された配膳依頼を確認し、部品を配膳する。

効果

- 配膳依頼表を作成していた時に比べ、誤入力や伝達ミスが激減。現場の負担が大幅に減り、業務効率が向上した。

【この導入事例は、2017年1月現在の情報に基づいています】

流通 青山商事 株式会社

<https://www.aoyama-syouji.co.jp/>

画像認識
活用事例



一人一台のデジタルデバイスで、業務効率とCSが大幅UP!!



課題

- 在庫確認や棚卸しにハンディターミナルを使っていたが、各店舗に2台程度しかなく、棚卸しに時間がかかっていた。

ソリューション

- 店舗の従業員ひとりひとりに、AsReader CAMERA-Typeをインストールしたデジタルデバイス (iPhone) を配布。
- ハンディターミナルで行っていた商品管理アプリケーションも当社で開発。POSレジとの連携も可能なので、業務に必要な要素を1台のデジタルデバイスに集約できた。

効果

- スタッフ全員で一斉に棚卸しできるので、時間と労力を削減。

現場スタッフの声

iPhone自体、普段使い慣れているものだったので、操作に関して抵抗はありませんでした。

一人一台持っていて、Wi-Fiで繋がっているのも、どこでも使えるというのは非常に便利です。業務効率がすごく短縮できたと感じています。

【この導入事例は、2020年7月現在の情報に基づいています】

流通 株式会社 カーポートマルゼン

<https://www.maluzen.com/>

画像認識
活用事例

AsReader®導入で入出庫でのヒューマンエラーが激減!



本店Pitでの顧客管理風景



物流倉庫での出庫風景



課題

- 在庫管理は、マンパワーに頼っていた。入出庫の数も目視で数え、それをパソコンに入力していたが、どうしてもヒューマンエラーが出てしまうので、誤出荷・誤発注の削減が急務となっていた。

ソリューション

- 倉庫では、ASR-020Dを使用してQRコードで入出庫を管理。AsReaderを活用し、リアルタイムに正確な在庫管理が可能となった。

店舗ではAsReader CAMERA-Type

店舗での接客時に活用していたiPadでも、AsReader CAMERA-Type(ソフトデコーダー)を導入。作業指示などと紐づけた顧客管理を行うことが可能となった。

効果

- 入力ミスによる誤出荷が激減。在庫管理に掛かっていた手間も減り、業務の効率化に繋がった。

【この導入事例は、2019年2月現在の情報に基づいています】

流通 株式会社 東急ハンズ (システムベンダー: ハンズラボ株式会社) <http://www.tokyu-hands.co.jp/>



AsReader®+iPod touchで顧客満足度の更なる向上!



課題

- 業務用PDAでは、ブラウザ機能が貧弱でインターネット使用に耐えられなかった。また、外国人観光客向けの翻訳機能や時刻表機能など、幅広い接客を目指す店舗スタッフからの要望に応えられない。
- 後継PDAにiPod touchを使おうと決めたが、内蔵のカメラ機能を使って陳列された商品のバーコードを読むのは幾つかの問題があった為、業務に使えるiPod touch一体型バーコードリーダーを探していた。

ソリューション

- AsReader+iPod touchとハンズラボ様が開発した業務アプリを接続。在庫確認・売価確認、発注管理など日常業務に加え、翻訳や配送状況確認など顧客満足度を高める便利なアプリをインストールして有効活用。
- Lightning端子を抜き差ししないマグネット式の充電システムなので接続部がトラブルフリーに。

効果

- 積極的に無料アプリを活用することで、お客様とのコミュニケーションがさらに活発に。
- システム入れ替えのために、教育研修を行おうとアウトラインを説明すると、現場から「スマホアプリなら研修なしでも分かる」という声。結果的に研修時間が圧倒的に短縮された。

【この導入事例は、2015年10月現在の情報に基づいています】

流通 株式会社 バロー <https://www.valor.jp/>



AsReader®の導入で発注業務に掛る時間が30%削減!



課題

- 従来はWindows CEベースのPDAを使っていたが、反応速度など操作性での不満点に加え、コスト面でも負担が大きかった。さらに、セキュリティの面からもiOSベースに変更を考えていた。
- 今後の多様化する業務に対応し、現場と本部との連携強化につながるような拡張性を持った端末を探していた。

ソリューション

- 業務システム専用プラットフォームBiz/Browser SmartDevice (株式会社オープンストリーム) と連携して、基幹システムに接続。発注・棚卸・在庫管理など従来業務全てに対応。
- 業務用ハンディ端末としてだけでなく、iOSを使った業務改革ツールとしての将来像を提供。

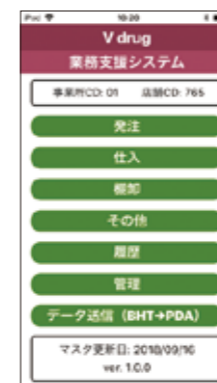
効果

- 従来のPDAとAsReaderで、一日の発注にかかる時間を比較検証したところ、30%短縮という結果が出た。
- 発注業務にかかる時間が短くなった分、売り場を整えたり、メンテナンスなど他の業務を行う時間が取れるようになった。

【この導入事例は、2015年8月現在の情報に基づいています】

流通 中部薬品株式会社 <https://www.vdrug.co.jp/>

専用端末から乗り換えて、業務効率も自由度も大幅UP!



課題

- 元々ハンディターミナルを使って発注や棚卸しなど商品管理をしていたが、クレイドルを使って店のパソコンとつないで送受信する仕組みだったので、データのやり取りに時間が掛かり、無線化が急務となっていた。
- 以前からiPod touchとiPadを業務に導入していたので、同じiOSのアプリで商品管理ができないか模索していた。

ソリューション

- iPod touchにセットするバーコードリーダーとしてAsReader ASR-010Dを選定。商品の発注はもちろんのこと、返品や店舗間の在庫の移動、廃棄、プライスカード発行などバーコードを使った様々な店舗業務に活用。

効果

- ハンディの小さな画面では使えなかったカレンダー機能や、細かい数字が並ぶ在庫の推移などが、iPod touchの画面サイズになって使えるようになった。
- ハンディ専用のソフトでは、プログラムを改修してアプリを自動で更新してといった機能改善が難しかったが、iOSのアプリだと割合簡単にアップデートでき、改善活動や機能拡張が容易になった。

【この導入事例は、2021年1月現在の情報に基づいています】

物流 株式会社 ほくやく (システムベンダー: 株式会社アドウィック) <https://www.hokuyaku.co.jp/>



端末をガラケーからAsReader®に変えて、劇的効率化!



課題

- 配送者は病院・薬局など一日約40件の配送があり、配送都度、お届け先であるお客様を視目で確認し、旧来の携帯電話を使った配送記録を本部に送信していた。

ソリューション

- 出発前に配送者のネームプレートにAsReaderをかざして配送者情報のバーコードを読み取る。配送時には伝票に印刷されたQRコードをAsReaderで読み込むと、お客様名の画面表示と音声によるアナウンスで確認でき、同時に本部に配送記録が送信される。

効果

- これまで数分掛っていた配送記録が、コード読み取りにより瞬時に終わるので、数分×40件分×配送者数の時間が毎日短縮されている。
- QRコードの読み取りでお届け先のお客様名の確認ができ、確実性が向上している。
- コード読み取り時にリーダーから赤いポインターが表示され、読み取り操作がし易い。

【この導入事例は、2019年11月現在の情報に基づいています】

建設機械 株式会社 エスシー・マシーナリ <https://www.sc-m.jp/>



RFタグとQRコードの併用で業務改革! DOCK-Type Combo



課題

- レンタル機器の多様化に伴い、人間の目視と手入力による管理ではどうしてもヒューマンエラーが発生し、棚卸しにかかる労力と時間も問題となっていた。
- リーダー選定に当たっては、社内だけでなく各地の建設現場で大勢の人が使用するため、簡易な操作性と並んでコスト面が重視された。

ソリューション

- 様々なレンタル製品に付いたRFタグをAsReader DOCK-Type Comboで読み取ることで、公衆回線を使って入出庫データを瞬時に確実にサーバへ転送。
- 運用上、RFタグとQRコードの両方を利用する為、コンボタイプを選択。レンタル機械の情報はRFタグを、出庫・返却情報はQRコードを読み取ることで、精度の高いリアルタイムな情報連携が可能となった。

効果

- 誤記入や記入漏れ、ミスタイプなどのヒューマンエラーが無くなり、瞬時に正確な商品管理が可能に。
- 棚卸しの時間と労力が大幅に削減され、業務効率が大幅アップ。

【この導入事例は、2019年3月現在の情報に基づいています】

商社 株式会社 大塚商会 <https://www.otsuka-shokai.co.jp/>



RFID AsReader®で顧客管理。併せてアプリも新開発!



課題

- 展示会での顧客管理方法として、従来はタブレットにRFIDリーダーをBluetooth接続してタグを読んでいたが、この方法では両手がふさがり、非常に使い勝手が悪いので、現場からの改善要請が出ていた。

ソリューション

- AsReader DOCK-Type ComboにiPad touchを装着して使用し、接客情報もその場で入力。基本はRFタグを読み取るが、万が一、タグが読めない場合はBarcodeに切り替えて対応。
- ハードの納入に併せてソフトウェアも当社が受託開発。デザインや使い勝手など細かな要望もワンストップで随時対応。

効果

- 接客終了後に顧客情報を即入力することで、入力忘れなどが減少。
- 女性でも、片手持ちで一日持っても苦にならない重さ。
- 直感的に使えるアプリなので、操作説明研修も不要。

【この導入事例は、2018年2月現在の情報に基づいています】

自動販売機事業 株式会社 ユカ <http://www.yukanet.co.jp/>



自販機から膨大なデータをリアルタイムで収集・分析!



課題

- 従来使っていたハンディターミナルは、大きくて取り回しが悪かった。
- 自販機から取り込んだデータをバッチ処理後に一括送信というこれまでのやり方だと、ハンディが壊れた場合、全てのデータが失われる。

ソリューション

- AsReader DOCK-Typeを自販機専用の光(赤外線)通信用にカスタマイズ。iPhone+AsReaderでリアルタイムにデータ送信が可能になり、詳細なデータ分析が可能になった。
- マグネット充電によってスマートに充電。以前から導入していたiPad使用時に問題となったLightning端子折れの問題も無くなった。

効果

- お客様からの問い合わせが入った時、これまでは一旦本社で受けて支店に連絡、さらに支店からルートセールスに電話という流れだったが、今後は問い合わせ内容を本社でサーバに入力すれば、ルートセールスが直ぐに閲覧し即応できるので、顧客満足度の向上につながる。
- リアルタイムでデータをサーバに集積するので、万が一の端末故障時でもデータ紛失の心配がない。

【この導入事例は、2018年4月現在の情報に基づいています】

建築 株式会社 長谷工コーポレーション <https://www.haseko.co.jp/hc/>



独自のRFID活用法で、建設現場にIT革命を呼び起こす!

排水管通球試験

- マンション施工時の排水管通球試験において、従来は排水管ごとにボールを投入し、排水桝までたどり着く時間をストップウォッチを使って手作業で計測、記入していた。



建設部材の一元管理

- 工場から出荷された部材を積んだトラックが、いくつかの現場を回るうちに、万が一、降ろし忘れがあった場合、部材が届かない現場では作業が止まる上、さらに、どの過程でミスがあったのかをなかなか把握できないことがあった。



ソリューション

- AsReaderを使ってボールに入ったRFタグのIDを読み取り、タイムスタンプを記録しながら屋上から排水管へ投入。ボールが排水桝へ到達するとボールのRFタグを読むことで、正確な時間が判る。

効果

- これまで、ボールを投入する人、回収する人、時間を計りペーパーに記入する人という三人体制で、一本ずつの配管を順にやっていたのが、複数のボールを使って一斉に行う事ができるようになり、三割以上の時間短縮につながった。データはクラウド管理なので記入ミスも起こらない。

ソリューション

- 長谷工コーポレーション様と不二サッシ様共同で行っている実証実験では、AsReaderとRFタグを使い、工場での製造から、出荷、荷降ろし、施工完了など全ての工程をシリアル管理する。

効果

- 建設部材の生産・出荷・在庫の管理が可能となり、工事進捗の見える化が図られ、一元管理による業務効率化が可能となった。

【この導入事例は、2020年10月現在の情報に基づいています】